

## 第4回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

場 所：東久留米市役所 702 会議室

日 時：平成 23 年 11 月 25 日（月）14：00～16：00

出席者：（審議会委員） 齊藤委員、則竹委員、佐藤委員、小山委員、紺野委員、田原委員、  
定免委員、坂本委員、高市委員、藤本委員（全 10 名）  
（事務局） 西村部長、佐川課長、櫻井係長、清水主事  
（日本環境工学設計事務所・コンサルタント） 鈴木氏

傍聴希望者——なし

### 《 審議会 》

#### 1. 開会

会長より挨拶

答申書（案）並びに基本計画（案）について、活発な議論を期待する。

#### 2. 配布資料の確認

下記資料の配布について確認及び内容説明

(1) 第 4 回東久留米市廃棄物減量等推進審議会次第

(2) 第 3 回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

(3) 容器包装プラスチックの回収を有料化した場合に予想される 1 世帯あたりの負担額

(4) 答申書（案）

(5) 東久留米市一般廃棄物処理基本計画（案）

#### 3. 審議会

会 長：答申書（案）並びに基本計画（案）について、ポイントを絞って議論願いたい。審議会として方向性を示せるようにしたい。

委 員：資源化するのに必要な経費負担であれば、容器包装プラスチックを有料化してもよいのではないかと。

委 員：容器包装プラスチックはどのような袋にするのか。

事務局：市民負担を考慮すると、容器包装プラスチックについては、有料化をせず、袋についても特に定める必要はないのではないかと考えている。

委 員：袋を指定したほうが、市民がわかりやすく効果は高いと考える。

委 員：容器包装プラスチックを有料化し、市民意識を高めるべきである。

- 委員：容器包装プラスチックのごみ処理費用を考慮して、有料化を検討すべきではないか。
- 委員：資源化の費用について、明確にすべきではないか。その効果を情報公開し、市民啓発すべきである。
- 委員：分別の効果を考慮し、価格設定に際しては十分研究すべきであると思う。
- 委員：資源物なのに排出する際、料金をとると市民意識の低下につながるのではないか。(料金をとるのであれば) やる気を起こさせるような価格設定にすべきである。
- 会長：容器包装プラスチックの価格については、幅を持たせて考える必要がある。
- 委員：容器包装プラスチックは資源として扱うことから、市民が納得できる金額であることが重要である。
- 委員：異物が入ると資源化できないため、中身が見えるような袋の指定が重要である。
- 委員：価格設定よりも、分別を進める上で袋の仕様は重要である。
- 委員：事業者が回収にかかる負担を負えるような仕組みを考えるべき。
- 会長：審議会として、容器包装プラスチックについては慎重な対応を求めることとする。また、家庭ごみの有料化に際しては、市民の理解を得られるような価格設定を求めることとする。費用負担の方法、単価設定については、答申書(案)のとおりとする。
- 委員：(紙オムツの使用者など) ごみ出し困難者への対策は、家庭ごみの有料化にあたって配慮すべき事項である。
- 事務局：他市の事例を踏まえ(家庭ごみの有料化にあたっての対応を) 検討していきたい。
- 会長：市民への合意形成についてはどうか。
- 委員：なぜ今、家庭ごみの有料化を行う必要があるのかを明確にするべきではないか。
- 会長：事業系ごみについては答申書(案)のとおりとしている。
- 委員：収集方法のあり方で、透明袋についてプライバシーの問題はないのか。
- 委員：資源物への異物混入を回避するためには、透明袋、戸別収集にすることが重要である。紙オムツについては、(資源物に混ぜて出す例が多いので) 無料化が望まれる。
- 委員：ダストボックスを、金網状のボックスにしてはどうか。
- 会長：(集合住宅等も含めて) 出した人間を明確にできるようにするべきではないか。
- 委員：家庭ごみの有料化後、不法投棄が増える心配はないのか。
- 委員：不法投棄対策としては、(不法投棄されたごみをそのままにせず) 速やかに

回収することやパトロールを強化すること等が、最も重要である。

事務局：(カメラ作動中等の) 警告シールの貼り付けも有効である。

委員：紙の資源化を進めてほしい。

委員：紙の盗難が多いので、条例で縛りを設けるべきである。

会長：基本計画(案)について、意見を願います。

委員：有料化の際、事業者に不公平が生じないようにするにはどのような事なのか。

事務局：市民負担と事業者のなかでも特に小規模事業者への負担を考慮し、価格を検討していきたいと考えている。

委員：ごみ量のリバウンドをさせない方策はないのか。

会長：市民がごみの減量化をする事を楽しめる仕組みが重要である。減量効果の情報共有も必要ではないか。

基本計画(案)と答申書(案)の内容については、12月2日(金)までに訂正や意見があれば願います。

委員：今後、ごみを減らす方法について具体例を示していくべきではないか。

委員：目標達成ができれば、価格を下げることも有効ではないか。

会長：ごみを減らす方法について情報公開し、ごみの減量効果を知ることで、楽しく減量化に取り組めるようにすべきである。

事務局：4月から広報等で情報を載せていこうと考えている。

今後のスケジュールについては、12月2日(金)までに基本計画(案)について、ご意見をいただく。12月15日(木)から1月10日(火)までパブリックコメントを行いたい。次回は、1月30日(月)14時より、市長への答申を行う予定である。